

平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月28日		記入者	内線	3257
部名	土木部	課名	道路整備課	課長名	神保政雄
事務事業名	市道淵野辺境橋道路改良事業				
予算上の事務事業名	市道淵野辺境橋道路改良事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32120		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第1節 骨格幹線道路網の整備				事業開始年度
施策名	第2施策 市内幹線道路の整備				平成8年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
道路法					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	道路整備10ヵ年計画 前期完了		町田市とJR横浜線淵野辺駅を結ぶ地区幹線道路として位置付けられており、歩道整備と老朽化した境橋の架け替えを行うもの。		
計画年次	8	年度～	20	年度	
4 事業形態の区分 建築・整備・重要物品購入 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
歩道が未整備であり歩行者等と自転車が混在し危険な状況であることと、増加する交通量に対応し、老朽化した境橋を架け替える。				歩行者、自転車、自動車等	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
道路延長 660.0m 計画幅員 14.0m(両歩道3.5m) 現況幅員 8.0m 平成16年度 整備延長78.0m 橋架け替え					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	9,815	23,930	29,617	22,300	8,600
一般財源	3,515	13,780	29,617	22,300	8,600
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	6,300	10,150	0	0	0
人件費の合計	2,097	2,002	2,017	2,017	2,017
事業コスト合計(a)	11,912	25,932	31,634	24,317	10,617
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	市道淵野辺境橋道路改良事業			対象名称(単位)	整備延長(m)
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	11,912	25,932	31,634	24,317	10,617
対象数	43	85	78	61	36
単位あたり経費(円)	277,023	305,082	405,564	398,639	294,917
前年度比		1.10	1.33	0.98	0.74

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	道路整備率		指標式と指標の説明	整備延長 / 目標整備延長 * 100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	43.0	85.0	78.0			
目標	43.0	85.0	78.0	0.0	0.0	
目標達成度	1.00	1.00	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	延道路整備率		指標式と指標の説明	延整備延長 / 目標延整備延長 * 100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	297.0	382.0	460.0			
目標	660.0	660.0	660.0	660.0	660.0	
目標達成度	45.0	57.9	69.7			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	[]：良好な状態を維持する事業				
	[]：概ね良好な状況である事業				
	[]：見直しを行う必要がある事業				
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		歩道を設置することにより、歩行者と車の分離が図られた。 また、境橋に関しても歩道の新設がなされ、交通安全の確保が図られた。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 未整備区間の早期整備を推進する。			14 課題として認識されたこと 用地取得に際し、地権者との交渉に日時を要する。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				